

⑤ 吉田欣吾 著

『フィンランド語のしくみ』

(白水社)

図書館には外国語の学習本がたくさんあります。前々から興味があった外国語を夏休みの間にマスターしよう！とやる気満々で本を借りた方、成果はいかがでしたか？文法説明を読み、練習問題を解き、付属CDなどを聞いてレッスンを繰り返す…。独学では、ちょっとくじけそうになりますね。

この「言葉のしくみ」シリーズには難しい用語は出てきません。その言葉を学ぶにあたっての押さえどころが、語りかけるような文章で書かれていますから、文法用語でくじけそうになった心をしっかり支えてくれますよ。(N. T.)

893.61 ||Yos

⑦ エリック・ラスムッセン 著、安達まみ 訳

『シェイクスピアを追え！：
消えたファースト・フォリオ本の方行方』

(岩波書店)

シェイクスピア初の戯曲全集である「ファースト・フォリオ」は、全世界で232冊現存が確認されています。そのうち日本には15冊あり、本学の図書館も1冊保有しています。

筆者は現存する「ファースト・フォリオ」について現地調査し、消えた「ファースト・フォリオ」を探し出すことを目的に世界中を飛び回ります。本書ではその過程で判明した、様々な人の手に渡り数奇な運命を辿った「ファースト・フォリオ」に纏わる逸話を紹介しています。

本学の「ファースト・フォリオ」はどのような運命を辿ってこの図書館へきたのか、想像を巡らせながら読むのも面白いかもしれません。(M.S.)

932 ||Ras



⑥ ジャン・ユンカーマン、松本薫 著

『日常語なのに日本人が知らない英語の本』

(さくら舎)

英語で相づちをいくつ使い分けられますか？定番の“Ah-hah.”や“yes.”、“I see.”などはよく聞く言葉ですね。では“I hear you.”や“You mean it?”はどんな意味をもつのでしょうか。

日常会話には曖昧な返答や、「うざい」などよく使うけれど英訳しにくい言葉も多くあります。この本では、直訳では伝わりにくい微妙なニュアンスの言葉を、アメリカ人が実際に使っている言葉に置き換えて紹介してあります。この本を参考に、日本語で友達と話すように英会話を楽しんでみませんか。(N.N.)

837.8 ||Jun

⑧ 角山榮 著

『時計の社会史』

(吉川弘文館)

本書では、時計という時間を測定する装置が置時計・掛時計から始まって現在のデジタルウォッチに至るまでの歴史の変遷について、『シンデレラ』や『ガリヴァー旅行記』に出てくる時計の形態を交えて、解りやすく説明されています。日本では寺の鐘や城の太鼓をならず時間をどのようにして測っていたのか、『奥の細道』の芭蕉に同行した曾良が日記に記した時間は何を基にした時間なのか、江戸時代の和時計はどのような構造だったのかについても、ユニークな考察がなされています。

また、時計が人間社会に時間の観念を浸透させて「時間＝お金」の関係を明確にしたという記述は、新しい視点を与えてくれるものです。(F.O.)

535.2 ||Tsu